

## ～SDGs インターンシップを終えて～

現代政策学部 1年 堤 琴霸

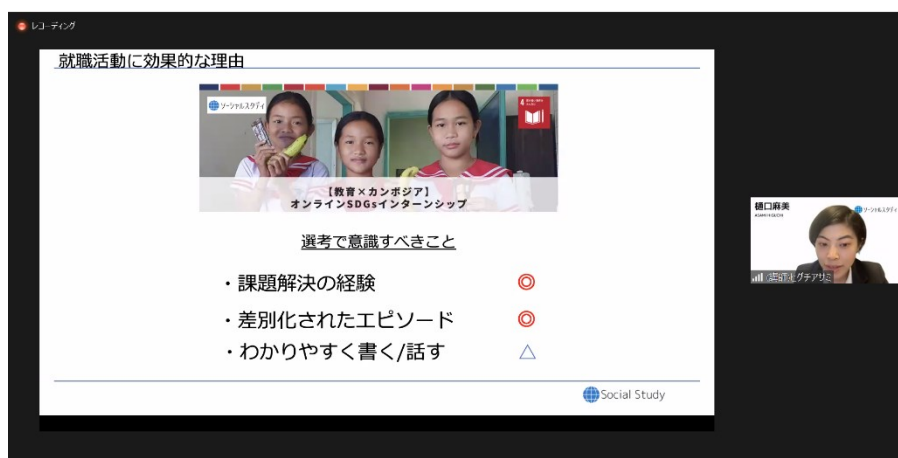
私は留学に興味があったのですが、いきなり海外に飛び出す自信がありませんでした。しかし、夏休みに入って何か自信が持てるようなことをしたいと思っていた時、大学の張り紙でオンラインのサマーセミナーがあることを知ったため、参加しました。

私はカンボジアと教育と貧困について考えるセミナーに参加しました。カンボジアの小学校の給食メニューを提案するという内容でした。

セミナーの生徒の数は 44 人で、中には日本語の勉強をしているカンボジアの学生の方もいました。そこからグループを 6 つに分けられ、1 つのグループで 1 つの献立を考えなければなりませんでした。

日本やカンボジアの SDGs の進捗状況や自己分析、プレゼンの見せ方など 8 つの講座を通して学ぶことがとても多かったです。またグループワークの活動も多く、講座を通して献立を決めていきました。

Zoom で開かれたのは土日だけで 1 日 5 時間と長い時間行われていましたが、それでも時間が足りず平日にグループ内でミーティングを開いて何度も話し合いをしました。



ガクチカ講座の様子

カンボジアの学生の方が現地の文化などの情報を教えてくださったり、自分たちで様々な情報を調べたり、何度も話し合いを行ったことで最終発表では自信をもって発表することができました。

サマーセミナーを通して様々な知識、チームワークの大切さ、英語力、グループワークの中で思ったことをすぐに発言できるような自信を身に付けることができました。



サマーセミナーを終えて、次の目標発表